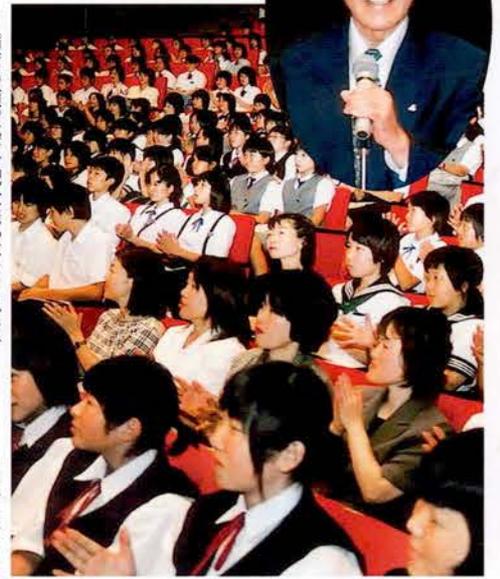


4000人の中学生参加

高校一日体験学習



参加した中学生のみなさんにメッセージを送られる須賀淳校長先生



満席の須賀栄子記念講堂大ホールで、さかんに拍手を送る参加生徒・保護者のみなさん



生活教養科のコスチュームショーからドレスの製作作品



県トップの実績をほころ男子ソフトテニス部



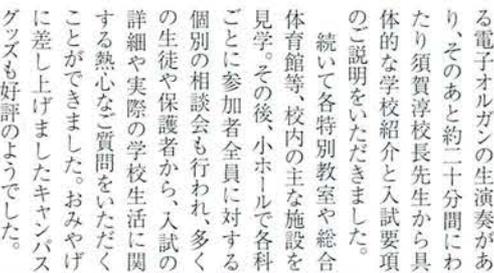
生活教養科の体験コーナーで、バターケーキの試食会



個別に入試相談を受けるみなさん



当日は、まず記念講堂大ホールで開会前に学園紹介のビデオの放映と音楽科生徒による



記念講堂ロビーに飾られた生活教養科の生徒作品



進路相談室のパソコンを使い、インターネットで進学情報を検索中

また、夏休みの終わりに実施された「二日体験学習」では、県内外から参加した四〇〇〇名を超える中学生のみなさんの真剣な表情に、私たち同気が引き締まる思いでした。二十一世紀をリードする須賀学園のようすを、紙面のすみずみから感じ取っていただけたら幸いです。(編集委員長:木村 晋介)

こととして第五回目を迎えた高校二日体験学習は、年々参加者が増加し、約四〇〇〇名を超える中学生が、県内外から集まりました。このため、実施日を八月二十七日(火)から同二十九日(木)までの三日間、午前と午後の計五回に分

行われました。当日は、まず、須賀栄子記念講堂大ホールで、須賀淳校長先生が、「みなさんの高校進学は、みなさん自身の選択によるもの。他の学校とよく比較をして考えてみてください。本校の大学進学率は県内私立大学のトップであり、慶応大学をはじめとして本校の在籍生徒数を上回る指定校推薦枠がいただけるのも、その進学実績が高く評価されていること。本校では、一月に三回の試験がありますが、まずこの試験にチャレンジし合格していただき、三月の県立高校入試にも臨ん

でみてくださいます。」「とごあいさつ。続いて、本校生徒によるパソコンやDVDを活用した、最新のスライド形式の各種コースごとの学習内容や進路の紹介が、ありましたが、特に生活教養科のパソコン実演、調理科の調理技術の披露や音楽科の電子オルガン演奏などは、他の高校ではまず見られない独自のステージで披露され、情報商業科のプレゼンも体験してみたいことができました。

さらに、普通科の体験コースを選択した宇都宮市立二条中学校の今津祐基君からは、「とても明るく楽しい学校。将来は、コンピュータ関係の仕事に就きたいので、情報商業科のプレゼンも体験してみたいことができました。」

ニーズに即応した新しいカリキュラムが充実し、都市の「住」「健康」「交通」「環境」「コミュニティ」などを学び、「二十一世紀の「ま」ちづくりのリーダー」を育成する都市環境デザイン

コースと、都市の「仕事」「企業」「情報」「経営」「国際経済」などを学び、

「企業」「情報」「経営」「国際経済」などを学び、

申3生・保護者対象 入試説明会を開催

那須大学が2コース制 導入。センター試験参入

須賀学園創立百周年を記念して、一九九九年平成十年四月に開学したのが国で唯一の都市経済学部を有する那須大学も、今年で四年目を迎える。既に第二期生四年生(約八割)が一般企業への内定を決めることができた。



8月8日(木)に行われた第2回那須大学オープンキャンパスのようす(学生ホールで大学生と語り合う本校普通科3年の生徒たち)

大講義室で高大連携講座を受講中の参加生徒のみなさん

平成十四年度PTA総会が、五月十八日(土)午後三時から須賀栄子記念講堂大ホールで開かれ、昨年度を上回る多くの保護者のみなさんが出席されました。協議内容は、平成十三年度の決算および事業計画の決議などでした。なお、新任・副会長は次のとおりです。(敬称略)
会長:酒巻幸夫(留任)
副会長:酒巻幸夫(留任)
会長に手塚彩由美さん
高校14年度生徒総会開く
五月三十一日(金)午後三時四十分から、記念講堂大ホールで平成十四年度生徒総会が開かれ、新たに会長として手塚彩由美さん(三年二組)、副会長に有坂真奈美さん(三年四組)、同濱田政樹君(三年二十三組)がそれぞれ選出されました。また、今年度の新たな活動目標として、「フェスタ二〇〇二」の開催について、掲げ、具体的な実施方法の検討やPR活動、ユニセフ募金への協力などを推進することに決定しました。皆さん一人一人の積極的な協力をお願いいたします。

本校独自の学習指導

本校では、「学力重視」の流れの中で、独自の学習システムによるサポート体制を完備し、生徒の能力・個性に合わせた学力向上策がはかられています。

～3つの柱～

- 充実した教科指導(実習週六日制) 週三回七時間授業を実施し、週三十四時間(総合的な学習の時間を含む)の授業時間を確保。土曜日は、学力強化授業や「基礎学力補習講座」「センター対策」等の各種補
- チャレンジする進学指導 最新の入試情報を迅速かつ正確に伝え、それを活用するためにコンピュータリテラシー教育にも力を入れています。大学合格体験発表会や個別相談保護者面談会等を通して、きめこまやかな進学指導を実践。高校と大学、短大が連携したさまざまな特別講座も開設しています。

編集後記

今号は、新たに二月に計三回の受験が可能となる、来年度入試に関する特集記事です。ことしの四月に新スタートした応用文理コースに続いて、平成十五年度には、さらに普通科特進コースがパワーアップされ、進学志望の目的別に充実したカリキュラム、進学指導体制が強化されることになりました。「学力重視」の流れの中で、私たちも、どんな指導をしていただけるのか、今から楽しみにしています。